

## 令和6年3月期 事業報告

### 1. 概要

当年度はコロナ禍による行動規制が解除されたため、鳥羽商船、大島商船、広島商船、弓削商船及び富山高専の学生に対し財団及び応募要項等の説明を行い、また例年通り各校の学生課の先生方に奨学生募集ガイドを送付するなど積極的に活動した。前年度に募集人数を大幅に超過する25名の応募があったことから、同じく前年度に選考委員及び理事で承認された各校の枠を事前に各校担当の先生方に説明した結果、本年度は募集15名に対し13名の応募となりほぼ計画通りの奨学生の採用となった。

また、当年度は富山高専の奨学生1名が専攻科へ、鳥羽商船の奨学生1名が東京海洋大学へそれぞれ進学を決めたため、本奨学生も前例に従い専攻科等を卒業まで期間の延長をすることを理事会で承認決議した。一方、船員職以外への就職を決めた富山高専専攻科1名から奨学金辞退の申し出があり、理事会で承認の上受理した。東京海洋大学1名からも同様に奨学金辞退の申し出があったが、3月28日の申し出であったことから5月の理事会にて承認の予定としている。

本年度は公益法人となって初めての交流会を3月12日に開催し、奨学生23名が参加した。交流会では上野トランステック㈱の協力を得て、奨学生各校出身の若手船員にも参加頂き、会食の場で船員としての実際の職場や生活環境について活発なコミュニケーションが行われ、参加者から有意義な機会であったとの感想を得た。

### 2. 事業活動

#### (1) 奨学金事業

##### ①奨学生の募集、採用

当年度は下記の要領により奨学生の募集を行い、選考委員会による奨学生選定、理事会による承認の後、13名を新たに採用した。これに伴い、上期は51名に対し612万円、下期は46名に対し552万円をそれぞれ支給した。

本年1月末にこれまで応募のあった各校の学生課に募集ガイドラインを作成送付した。

##### <対象>

- ・3級海技士の免状取得を目指す者のうち、商船系大学、水産系大学校の3年生、及び商船高等専門学校校の4年生。

##### <募集人数と選考>

- ・15名程度。
- ・ホームページによる公募を経て選考委員会にて選定する。
- ・選考委員会は3名で構成（外部委員3名）

##### <支給金額>

・月額 20,000 円

## ②奨学生の状況

9月末に2021年度採用した東海大学、鳥羽商船、大島商船及び富山高専の7名が無事卒業し、2名が船社へ就職、1名は専攻科へ、1名は神戸大学へ進学した。3月には2020年採用した水産大学校の6名が卒業し、1名が日本海事検定協会へ就職、4名が内航または外航船社への就職した旨報告を受けた。

富山高専専攻科の1名が親の介護のため船員職に就けないことから奨学金辞退の申し出があり、富山高専の1名が専攻科進学、鳥羽商船の1名が東京海洋大学進学のため奨学金支給期間延長の申請があり、それぞれ理事会にて承認した。

## ③交流会

2024年3月12日に財団設立以来最初の交流会を開催、奨学生23名が参加した。上野代表理事が財団の趣旨や海運業界の現状及びこれからの船員に求められる事など、また上野トランステック(株)の職員・船員の協力をえて先進技術や環境負荷低減への海運業界の取組みについてそれぞれ講話があり、その後会食をともにしながら各校のOB・OGの若手船員と実際の職場環境や仕事の内容、生活環境など話し合いの場を設定し、参加者から好評を得られた。

## (2) 法人運営

当年度は、財団の選考委員に関する選任手続きをあらためて明確化し、2024年3月12日の理事会で全員を重任した。

法人法に基づく評議員会及び理事会を以下の通り開催した。

令和5年5月22日	第1回理事会	1号議案 令和4年度事業報告及び決算書の承認の件 2号議案 評議員会開催の件 3号議案 令和5年度奨学生採用承認の件 4号議案 奨学金支給打ち切りの件
令和5年6月29日	第1回評議員会	1号議案 令和4年度事業報告及び決算書の承認の件
令和5年11月1日	第2回理事会	1号議案 奨学金支給期間延長の承認の件
令和6年3月12日	第3回理事会	1号議案 令和6年年度事業計画及び収支予算承認の件 2号議案 奨学金支給期間延長申請承認の件 3号議案 奨学生選考委員会選考委員重任承認の件

以 上

令和 6 年 3 月期事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

# 計算書類

第4期

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

公益財団法人上野教育文化財団

貸借対照表  
令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金及び預金	845,657	0	845,657
前払費用	22,000	55,000	△ 33,000
流動資産 合計	867,657	55,000	812,657
2.固定資産			
(1)基本財産			
普通預金	0	2,648,757	△ 2,648,757
定期預金	3,000,000	0	3,000,000
投資有価証券	1,476,657,148	1,476,657,148	0
(2)その他固定資産			
什器備品	1	1	0
固定資産 合計	1,479,657,149	1,479,305,906	351,243
資産合計	1,480,524,806	1,479,360,906	1,163,900
II 負債の部			
1.流動負債			
未払費用	1,353,014	0	1,353,014
預り金	0	56,510	△ 56,510
流動負債 合計	1,353,014	56,510	1,296,504
負債合計	1,353,014	56,510	1,296,504
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
受取寄付金	3,000,000	2,648,757	351,243
受贈株式	1,476,657,148	1,476,657,148	0
指定正味財産 合計	1,479,657,148	1,479,305,905	351,243
(うち基本財産への充当額)	(1,479,657,148)	(1,479,305,905)	(351,243)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
2.一般正味財産	△ 485,356	△ 1,509	△ 483,847
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
正味財産 合計	1,479,171,792	1,479,304,396	△ 132,604
負債及び正味財産合計	1,480,524,806	1,479,360,906	1,163,900

正味財産増減計算書  
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	11,648,757	10,000,000	1,648,757
受取寄付金振替額	0	351,243	△ 351,243
受取配当金	3,550,876	3,550,876	0
受取利息	36	43	△ 7
経常収益計	15,199,669	13,902,162	1,297,507
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	0	93,906	△ 93,906
地代家賃	237,600	237,600	0
旅費交通費	145,320	0	145,320
通信費	5,610	200,345	△ 194,735
支払奨学金	11,640,000	11,880,000	△ 240,000
交流会費用	1,062,424	0	1,062,424
支払報酬	93,906	0	93,906
広告活動費	205,673	0	205,673
委託費	1,405,800	742,500	663,300
諸手数料	122,100	0	122,100
減価償却費	0	64,844	△ 64,844
その他雑費	31,044	210,574	△ 179,530
管理費			0
役員報酬	532,134	438,898	93,236
地代家賃	26,400	26,400	0
通信費	5,913	22,261	△ 16,348
委託費	156,200	82,500	73,700
諸手数料	12,940	0	12,940
減価償却費	0	7,205	△ 7,205
その他雑費	452	18,174	△ 17,722
経常費用計	15,683,516	14,025,207	1,658,309
当期経常増減額	△ 483,847	△ 123,045	△ 360,802
当期一般正味財産増減額	△ 483,847	△ 123,045	△ 360,802
一般正味財産期首残高	△ 1,509	121,536	△ 123,045
一般正味財産期末残高	△ 485,356	△ 1,509	△ 483,847
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	351,243	0	351,243
一般正味財産への振替額	0	△ 351,243	351,243
当期指定正味財産増減額	351,243	△ 351,243	702,486
指定正味財産期首残高	1,479,305,905	1,479,657,148	△ 351,243
指定正味財産期末残高	1,479,657,148	1,479,305,905	351,243
III 正味財産期末残高	1,479,171,792	1,479,304,396	△ 132,604

正味財産増減計算書内訳表  
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	10,848,757	800,000	11,648,757
受取配当金	3,550,876	0	3,550,876
受取利息	32	4	36
経常収益計	14,399,665	800,004	15,199,669
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	0	0	0
地代家賃	237,600	0	237,600
旅費交通費	145,320	0	145,320
通信費	5,610	0	5,610
支払奨学金	11,640,000	0	11,640,000
交流会費用	1,062,424	0	1,062,424
支払報酬	93,906	0	93,906
広告活動費	205,673	0	205,673
委託費	1,405,800	0	1,405,800
諸手数料	122,100	0	122,100
その他雑費	31,044	0	31,044
管理費			0
役員報酬	0	532,134	532,134
地代家賃	0	26,400	26,400
通信費	0	5,913	5,913
委託費	0	156,200	156,200
諸手数料	0	12,940	12,940
その他雑費	0	452	452
経常費用計	14,949,477	734,039	15,683,516
当期経常増減額	△ 549,812	65,965	△ 483,847
当期一般正味財産増減額	△ 549,812	65,965	△ 483,847
一般正味財産期首残高	△ 2,818,696	2,817,187	△ 1,509
一般正味財産期末残高	△ 3,368,508	2,883,152	△ 485,356
II 指定正味財産増減の部			0
受取寄付金	351,243	0	351,243
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	351,243	0	351,243
指定正味財産期首残高	1,479,305,905	0	1,479,305,905
指定正味財産期末残高	1,479,657,148	0	1,479,657,148
III 正味財産期末残高	1,476,288,640	2,883,152	1,479,171,792

## 財務諸表に対する注記

### I 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
定額法を採用している。
- (2) 消費税等の会計処理  
税込処理によっている。

### II 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	2,648,757	0	2,648,757	0
定期預金	0	3,000,000	0	3,000,000
投資有価証券	1,476,657,148	0	0	1,476,657,148
小計	1,479,305,905	3,000,000	2,648,757	1,479,657,148
合計	1,479,305,905	3,000,000	2,648,757	1,479,657,148

### III 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	( 0)	( 0)
投資有価証券	1,476,657,148	(1,476,657,148)	( 0)	( 0)
小計	1,479,657,148	(1,479,657,148)	( 0)	( 0)
合計	1,479,657,148	(1,479,657,148)	( 0)	( 0)

( )をつけました



# 附属明細書

令和6年3月31日現在

## I 基本財産の明細

財務諸表に対する注記のⅡにおいて記載しております。

財産目録  
令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	普通預金	みずほ銀行横浜支店	運転資金	845,657
	前払費用	事務所賃料の前払分		22,000
流動資産合計				867,657
(固定資産)	基本財産	定期預金	公益目的保有財産 公益目的保有財産であり、受取配当金を公益目的事業の財源として使用	3,000,000
		有価証券		1,476,657,148
	その他 固定資産	什器備品		1
固定資産合計				1,479,657,149
資産合計				1,480,524,806
(流動負債)	未払費用	奨学生交流会出席者旅費等		1,353,014
負債合計				1,353,014
正味財産				1,479,171,792

公益財団法人上野教育文化財団

代表理事 上野 元 殿

令和6年5月17日

公益財団法人上野教育文化財団

監 事 奥津 元 殿

私は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第4期事業年度の理事の職務の執行につき監査いたしました。その方法及び結果について、つぎのとおり報告いたします。

#### 1 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

#### 2 監査の結果

##### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

##### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上